事業番号　　新25-0030

# 平成２５年行政事業レビューシート　　（農林水産省）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 事業名 | 途上国持続可能な森林経営推進事業 | 担当部局庁 | 林野庁森林整備部 | 作成責任者 |
| 事業開始・終了（予定）年度 | 平成25年度～平成26年度 | 担当課室 | 計画課海外林業協力室 | 室長　赤堀聡之 |
| 会計区分 | 一般会計 | 政策・施策名 | ⑫森林の有する多面的機能の発揮 | |
| 根拠法令（具体的な条項も記載） | 森林・林業基本法第18条 | 関係する計画、通知等 | ODA大綱（H15.8）<br>森林・林業基本計画（H23.7） | |

**事業の目的**（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

開発途上国の持続可能な森林経営を推進し、我が国への木材の安定供給や気候変動等の地球規模の課題に対応するため、海外森林保全活動に関する情報整備や人材育成、プロジェクト形成調査支援、実証活動を通じた森林造成・保全技術の開発と普及等、企業やNGO等多様な主体による海外森林保全活動を推進する。

**事業概要**（5行程度以内。別添可）

1．途上国森づくり事業【補助率：定額】
（1）海外森林保全参加支援事業
　森林分野の国際協力活動候補地に係る情報整備、NGO等の活動支援、途上国における森林保全活動事例の収集・分析、情報共有のためのワークショップ等の開催を行う。
（2）貧困削減のための森づくり支援事業
　貧困問題から森林の過剰利用が見られる地域で持続的な森林の利用を図るため、当該地域の荒廃森林の復旧再生、当該地域の森林の実態把握及び技術指針の普及・フォローアップを行う。また、貧困問題から森林の過剰利用が見られる地域の特殊性を踏まえた効果的な普及手法を開発する。
（3）開発地植生回復支援事業
　鉱物の採掘等によって荒廃した土地周辺の植生を回復するため、実証活動を通じて必要な技術を確立し、技術指針を作成し、普及する。

2．森林・水環境保全のための実証活動支援事業【補助率：定額】
　砂漠化や水資源問題が深刻化する半乾燥地域において、水収支バランスに配慮した植林地選定手法と森林造成・管理手法を開発し、その普及を図る。

**実施方法**　□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他

**予算額・執行額**（単位：百万円）

| | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度要求 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 予算の状況 | 当初予算 | － | － | － | 82 | |
| | 補正予算 | － | － | － | | |
| | 繰越し等 | － | － | － | － | |
| | 計 | － | － | － | 82 | |
| 執行額 | | － | － | － | | |
| 執行率（%） | | － | － | － | | |

**成果目標及び成果実績（アウトカム）**

| 成果指標 | | 単位 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 目標値（　年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国際的な協調の下で開発途上国における持続可能な森林経営に向けた取組の起点となり得る企業、NGO等による森林保全プロジェクトを事業終了までに25件以上形成する。 | 成果実績 | 件 | － | － | － | 25件（H26年度） |
| | 達成度 | % | － | － | － | |
| 砂漠化や水資源問題が深刻化する半乾燥地における森林造成・管理手法の開発と普及に関し、事業対象地域周辺の農民に対して、森林造成・管理手法等に関するワークショップを行い、その内容を理解した農民が全参加者の80%以上となる | 成果実績 | 理解度 | － | － | － | 理解度80%（H25年度） |
| | 達成度 | % | － | － | － | |
| 事業内容の達成度について相手国の関係者を対象としたアンケート調査（4段階評価）を毎年度実施し、3．5以上の評価を得る。 | 成果実績 | 評価点 | － | － | － | 3.5 |
| | 達成度 | % | － | － | － | |

**活動指標及び活動実績（アウトプット）**

| 活動指標 | | 単位 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度活動見込 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 民間企業、NGOなどが海外で行う森林保全プロジェクト形成調査に対して行った支援の件数（目標：年間8件） | 活動実績（当初見込み） | 本 | －（－） | －（－） | －（－） | －（8） |
| 半乾燥地域の行政職員やNGO、農民等を対象とした研修やワークショップの参加人数（目標：年間30人） | 活動実績（当初見込み） | 本 | －（－） | －（－） | －（－） | －（30） |

**単位当たりコスト**　算出根拠

**平成25・26年度予算内訳**

| 費　目 | 25年度当初予算 | 26年度要求 | 主な増減理由 |
|---|---|---|---|
| 途上国森づくり事業 | 74 | | |
| 森林・水環境保全のための実証活動支援事業 | 8 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 計 | 82 | | |

## 事業所管部局による点検

| | 項　目 | 評　価 | 評価に関する説明 |
|---|---|---|---|
| 国費投入の必要性 | 広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。 | ○ | ・企業、NGO等による途上国における森林保全活動の裾野を広げることは、途上国の持続可能な森林経営の推進に貢献し、結果として我が国への安定的な木材供給の確保に資する。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | |
| | 明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。 | ○ | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | × | ・一者応募<br>・本事業では公募による企画競争で事業実施主体を選定しているが、平成25年度は2事業が1者応募であった。なお、企画競争への応募が1者の場合、必ずしもその1者が選定されるわけではなく、当該応募内容が事業の目的を達成し得ないと審査された場合は再公募を行い、選定を行うこととしている。<br>・費目・使途は苗木代等必要な経費に限定されている。 |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | |
| | 単位当たりコストの水準は妥当か。 | － | |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | － | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | － | |
| 事業の有効性 | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ | ・成果はワークショップの開催等を通じて普及を図っている。 |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | － | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | |
| 重複排除 | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。<br>（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載） | － | |

| 事業番号 | 類似事業名 | 所管府省・部局名 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

**点検結果**

【事業の成果目標、活動指標が立てられているか。また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】
・本事業は、途上国の持続可能な森林経営の推進に必要な地域住民による森林保全活動等を進めるため、効果的、効率的な手段として、多様な主体による取組の推進及び必要な技術の開発・普及を行うものである。このため、我が国NGO等による森林保全プロジェクトの形成件数、地域住民等への森林造成・管理技術の普及度合い等を成果目標として掲げており、それに対する活動指標として、プロジェクト形成調査支援件数及び研修・ワークショップの参加人数を設定している。
【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか。】
・本事業は海外森林保全活動に関する情報整備や人材育成、プロジェクト形成調査支援、実証活動を通じた森林造成・管理技術の開発と普及等を行い、NGO等による海外森林保全活動の裾野の拡大に貢献するものである。本事業のこれらの取組により、途上国の持続可能な森林経営が推進され、その結果として我が国への木材の安定供給や気候変動緩和に貢献することは、広く国民のニーズに応えるものである。
【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッションなのか】
・本事業は海外における森林保全活動を通じて途上国の持続可能な森林経営の推進に貢献するものであり、農林水産省のミッションである。

## 外部有識者の所見

## 行政事業レビュー推進チームの所見

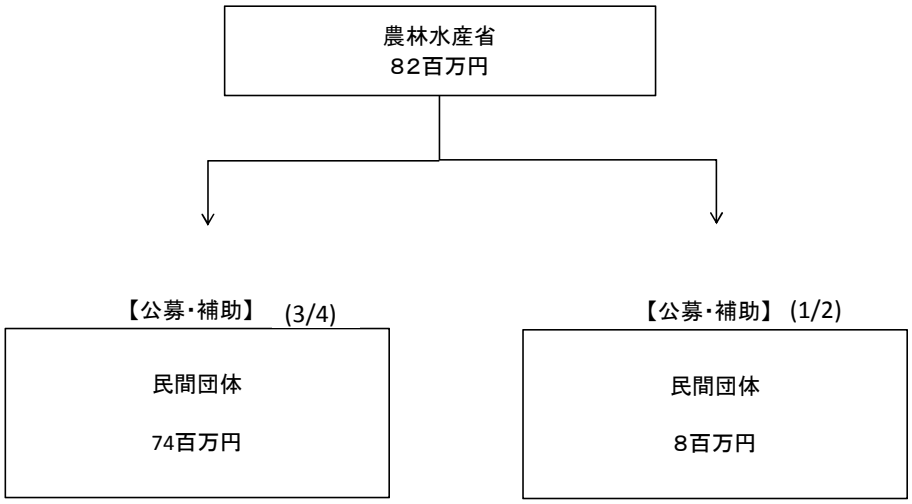
## 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

## 備考

## 関連する過去のレビューシートの事業番号

| 平成22年 | 0381 | 平成23年 | 0255、0274 | 平成24年 | 新25-0046 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| **資金の流れ**<br>（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）<br>（単位：百万円） | ※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 |



**費目・使途**
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

| A. | | | E. | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） | 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

| B. | | | F. | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） | 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

| C. | | | G. | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） | 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

| D. | | | H. | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） | 費 目 | 使 途 | 金 額（百万円） |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

**支出先上位10者リスト**

A.

| | 支 出 先 | 業 務 概 要 | 支 出 額<br>（百万円） | 入札者数 | 落札率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

B.

| | 支 出 先 | 業 務 概 要 | 支 出 額<br>（百万円） | 入札者数 | 落札率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |